

平成 28 年度 兵庫県クラブユースサッカー新人戦 決勝

フレスカ、ヴィッセル伊丹共に昨年の昇格戦で勝利し、今年からサンライズリーグで戦う 2 チームの対戦。

フレスカは準決勝でヴィッセル神戸を倒し勢いに乗っている中で、ヴィッセル伊丹はどう戦うのか。サンライズリーグを戦う上でも力を試す重要な一戦となった。

立ち上がり早々は、試合は落ち着かず得点生まれそうな位置でのフリーキックやコーナーキックがあるなどゴール前の攻防が多かった。

10 分以降落ち着き始めヴィッセル伊丹がボールを動かしながら攻撃を進めるようになる。奪われても FW、MF の切り替えが早くフレスカに自由にプレーさせていなかったが、17 分に右サイドコーナー付近からフレスカのセットプレーからヘディングシュートで先制。

その後は、フレスカ FW へのロングフィードが有効的に入るようになり、サイドのスペースをうまくつくことでゴールチャンスが増えだした。

後半立ち上がり早々から、サイドチェンジにより決定機を作るフレスカ。

それが連続した 2 分、左サイドからドリブルで抜け出しゴールを決め 2-0 に。2 失点した事で、ヴィッセル伊丹は焦りが見え前に攻撃するのが早くなった事で攻撃が単調になり硬いフレスカの守備陣を中々崩せなくなる。

13 分には、フレスカはクロスからのこぼれ球を決め 3 点目を奪う。

ヴィッセル伊丹の選手の運動量が減りはじめ、相手ボール保持者にプレッシャーが遅れたり行けなくなったところでさらに追加点を奪われてしまい 4-0 でフレスカの勝利。

大量点を奪ったフレスカの攻撃陣が目立つところだが、トーナメントに入り無失点で抑えたディフェンス陣の力が攻撃に与える影響が大きかったと感じた。

両チームとも、この新人戦での戦いから個人・チーム力を上げサンライズリーグではさらなるレベルアップした力を見せてもらい、いい結果を期待したい。